

国際ロータリー 第 2660 地区

2024-25 年度のための

地区チーム研修セミナー



2024 年 2 月 10 日 (土)

13:30~17:00 (セミナー)

17:10~18:30 (懇親会)

シティプラザ大阪 2 階 旬・燦



2024-25 年度のための 国際ロータリー第 2660 地区 地区チーム研修セミナー

日 時 : 2024 年 2 月 10 日 (土) 13:30~17:00 (懇親会~18:30)

会 場 : シティプラザ大阪 2 階 「旬」 (懇親会会場 2 階「燦」)

(敬称略)

時刻	所要	内 容	担 当	
13:30	5	開会・点鐘	ガバナー	延原 健二
		出席者紹介	24-25 年度 地区代表幹事	吉崎 広江
13:35	5	開会挨拶	ガバナー	延原 健二
■2024-25 年度方針説明				
13:40	40	2024-25 年度 国際ロータリー会長テーマ 第 2660 地区 運営・活動方針	ガバナーエレクト	大橋 秀典
14:20	15	2024-25 年度 地区財務の概要	24-25 年度 地区財務委員長	前田 興二
■地区運営のための基礎知識				
14:35	30	DEI 推進：地区チームの役割	直前ガバナー／RI & TRF 合同 DEI 諮問委員会委員	宮里 唯子
15:05	20	地区チームにおける危機管理	17-24 年度 地区危機管理委員長	片山 勉
15:25	20	委員会活動に関するお知らせ事項	24-25 年度 地区代表幹事	吉崎 広江
15:45	3	ガバナーノミニー挨拶	ガバナーノミニー	吉川 健之
15:48	3	ガバナーノミニー・デジグネート挨拶	ガバナーノミニー・デジグネート	横田 孝久
15:51		閉会・点鐘	ガバナー	延原 健二
16:00	60	委員会別協議	各委員会	

委員会別協議終了後、2 階「燦」にてピュッフェ形式の懇親会を開催します。
ご出席の皆様は各自、移動をお願い致します。

[2024-25年度のための地区チーム研修セミナー 出席者一覧表①]

(敬称略)

ガバナー	延原 健二	大阪大淀	次年度地区代表幹事	吉崎 広江	東大阪東
バストガバナー	立野 純三	大阪	次年度地区副代表幹事	中西 徹	東大阪東
バストガバナー	松本 進也	大阪北	次年度地区副代表幹事	田原 さおり	東大阪東
バストガバナー	片山 勉	大阪東	次年度地区副代表幹事	古川 靖明	東大阪東
バストガバナー	山本 博史	大阪南	次年度地区幹事 ロータリーの友地区代表委員	木村 芳樹	大阪南
バストガバナー	簡 仁一	茨木	次年度地区幹事	石田 肇	東大阪東
直前ガバナー	宮里 唯子	茨木西	次年度地区幹事	岡田 耕治	東大阪東
ガバナーエレクト	大橋 秀典	東大阪東	次年度地区幹事	齋藤 勝俊	東大阪東
ガバナーノミニー	吉川 健之	大阪北	次年度地区幹事	河村 幸司	東大阪東
ガバナーノミニー・デジネート	横田 孝久	東大阪	次年度地区幹事	一由 麻里	東大阪東
I.M.第1組ガバナー補佐エレクト	長尾 依子	大阪そねざき	次年度地区幹事	山崎 直人	東大阪東
I.M.第2組ガバナー補佐エレクト	上本 博	吹田	次年度地区幹事	新井 繁太郎	東大阪東
I.M.第3組ガバナー補佐エレクト	岡田 光司	寝屋川	次年度地区幹事	北埜 登	東大阪東
I.M.第4組ガバナー補佐エレクト	下條 泰利	大阪南	次年度地区幹事	戸田 尊文	東大阪東
I.M.第5組ガバナー補佐エレクト	菊 康人	大阪ユニバーサルシティ	次年度地区幹事	西村 智子	東大阪東
I.M.第6組ガバナー補佐エレクト	片山 一步	大阪帝塚山	次年度地区幹事	松木 俊明	東大阪東
I.M.第1組ガバナー補佐ノミニー	藤間 好太郎	大阪水都	次年度地区幹事	城戸 総一郎	東大阪東
I.M.第2組ガバナー補佐ノミニー	前田 要之助	大阪東淀ちやまち	次年度地区幹事	前田 興二	東大阪東
I.M.第3組ガバナー補佐ノミニー	佐藤 多加志	大東	次年度地区幹事	吉川 宏	東大阪東
I.M.第5組ガバナー補佐ノミニー	西出 省三	大阪心斎橋	次年度地区幹事	芳田 至弘	東大阪東
			次年度地区幹事	北川 忠嗣	東大阪東
次年度地区規定・決議審議委員会 委員	横井 理	大阪東	次年度地区幹事	表 康之	東大阪東
次年度地区規定・決議審議委員会 幹事	大野 康裕	大阪北	次年度地区幹事	田原 靖夫	東大阪東
次年度地区ラーニング委員会 委員	小高 得央	大阪東	次年度地区幹事	井上 善博	東大阪みどり
次年度地区ラーニング委員会 委員	中村 一	大阪船場	次年度地区幹事	山村 忠弘	東大阪みどり
次年度地区ラーニング委員会 委員	徳山 善雄	大阪リバーサイド	次年度地区幹事	平澤 威海	大阪ネクスト
次年度地区ラーニング委員会 委員	相崎 秀樹	大阪西	次年度地区幹事	吉岡 泰造	大阪ネクスト
次年度地区ラーニング委員会 委員	伊藤 勝彦	大阪南	次年度地区幹事	表 泰之	大阪ネクスト
			2024-25年度クラブ会長	中川 順子	大阪ネクスト
次年度危機管理委員会 副委員長	間石 成人	高槻西	2024-25年度クラブ幹事	辻本 武玄	大阪ネクスト
次年度危機管理委員会 委員	佐々木 清一	大阪東	次々年度地区代表幹事	森本 尚孝	大阪北
次年度危機管理委員会 委員	磯田 郁子	大阪東淀ちやまち	次々年度地区副代表幹事	田中 計久	大阪北
次年度危機管理委員会 委員	中嶋 茂夫	大阪中央	次々年度地区副代表幹事	廣瀬 哲三	大阪北
次年度危機管理委員会 委員	魚谷 健司	大阪西南	次々年度地区常任幹事	鹿浦 英毅	大阪北
次年度危機管理委員会 委員	廣田 亮彦	大阪北梅田	次々年度地区常任幹事 兼 地区大会実行委員長	田淵 宏政	大阪北
大阪・関西万博関連事業実行委員会 副委員長	樋口 信治	大阪	次々年度地区常任幹事	高田 祥宏	大阪北
大阪・関西万博関連事業実行委員会 副委員長	早嶋 茂	大阪	次々年度地区常任幹事	辻本 希世士	大阪北
大阪・関西万博関連事業実行委員会 委員	丹羽 一郎	大阪東	次々年度地区幹事	倉智 真平	大阪北
大阪・関西万博関連事業実行委員会 委員	神藤 佳浩	大阪南	次々年度地区幹事	田中 実	大阪北
大阪・関西万博関連事業実行委員会 委員	清水 久博	大阪南			
大阪・関西万博関連事業実行委員会 委員	松山 大祐	大阪南			
大阪・関西万博関連事業実行委員会 委員	岡村 良弘	大阪南			
大阪・関西万博関連事業実行委員会 委員	岡部 倫正	大阪城南			
大阪・関西万博関連事業実行委員会 委員	坂口 雄哉	大阪西南ステラ ロータリー衛星クラブ			

[2024-25年度のための 地区チーム研修セミナー 地区委員出席者一覧②]

委員会名	役職	氏名	クラブ名	セミナー	懇親会	委員会名	役職	氏名	クラブ名	セミナー	懇親会
クラブ奉仕・ 拡大増強	委員長	樋口 武英	大阪東	○	○	ローターアクト	委員長	北村 太作	大阪北梅田	○	○
	副委員長	堀田 進介	大阪北梅田	○	×		副委員長	新見 香	池田	×	×
	副委員長	福田 忠	大阪難波	○	○		副委員長	伊藤 剛	守口	○	○
	副委員長	瀬戸口 哲夫	大阪東	○	×		副委員長	出口 孝良	大阪西	○	○
	副委員長	市村 優次	東大阪	○	○		副委員長	日高 雅哉	大阪難波	○	○
	副委員長	浜田 晋	大阪北	○	○		委員	加藤 正	豊中南	×	×
	委員	川口 秀司	大阪東	○	×		委員	山田 弘樹	大阪南	×	×
	委員	武島 秀吉	大阪御堂筋本町	○	○		委員	西村 栄一郎	大阪	×	×
	委員	青山 緋一郎	大阪南	○	○		委員	山下 義一	大阪帝塚山	○	×
	委員	吉田 千里	大阪西南	○	×		委員	仲西 良浩	大阪天満橋	○	○
	委員	帆足 嘉寿大	東大阪中央	○	○		委員	森川 孝善	環屋川	○	○
	委員	大和田 雅江	大阪西	○	○		委員	堀内 智子	大阪中央	○	×
	委員	富廣 恒敏	大阪東	○	○		委員	重松 健治	大阪東	○	○
	委員	河合 章成	大阪中央	○	○		委員	加藤 優	八尾	×	×
公共イメージ向上	委員長	下出 一	大阪アーバン	○	○	ローターアクト 地区役員	委員	船 律子	大阪西南	○	○
	副委員長	大島 規弘	東大阪	○	×		委員	河田 恵樹	大阪ネクスト	○	○
	副委員長	荒川 弘也	大阪中央	×	×		地区代表	池島 詠美	大阪帝塚山RAC	○	○
	副委員長	今西 章登	大阪中央	○	×		地区幹事	川原 大樹	大阪北梅田RAC	○	○
	委員	辻 輝	大阪	×	×		地区会計	林 未結	枚方RAC	○	×
	委員	多田 誠	大阪そねざき	×	×		東ゾーン代理	福永 翔太	大阪難波RAC	○	○
	委員	眞部 尚英	大阪真直	○	○		委員長	佐藤 多加志	大東	●	●
	委員	辻岡 昌美	門真	○	○		副委員長	奥村 雅一	池田くれは	○	○
	委員	利倉 一影	大阪北	×	×		副委員長	山本 博之	大阪東	○	×
	委員	佐々木 博史	吹田西	○	×		副委員長	山本 睦哉	大阪帝塚山	○	×
	委員	三井 泰之	高槻	○	×		副委員長	樋口 光平	大東	○	○
	委員	甲山 真知子	くずは	×	○		委員	江澤 由	高槻	○	○
	委員	田 原至	大阪西	○	○		委員	水谷 武志	守口イブニング	×	×
	委員	宮田 天風	大阪平野	○	○		委員	竹原 寛人	大阪天王寺	×	×
職業奉仕	委員長	近藤 太郎	大阪西	○	○	RYLA	委員	竹中 浩人	八尾	○	×
	副委員長	荒金 正之	大東中央	○	○		委員	磯田 郁子	東淀ちゃやまち	●	×
	副委員長	武枝 敬之	豊中	○	×		委員	栗原 大	大阪南	×	×
	委員	富川 和将	大阪心斎橋	×	×		委員	中野 秀一	大東	○	○
	委員	奥村 隆司	大阪北	×	×		委員	古井 明徳	大阪	○	○
	委員	近藤 巨	吹田西	○	×		委員	齋田 淳子	大阪西南	○	○
	委員	松本 拓朗	豊中	○	×		委員	山村 忠弘	東大阪みどり	○	○
	委員	田中 商人	くずは	○	×		委員長	土方 慶之	茨木	○	○
	委員	西村 智子	東大阪東	●	●		副委員長	山中 政彦	大阪西	○	○
	委員	谷口 善紀	八尾	×	×		副委員長	中島 一	くずは	×	×
	委員	近藤 康之	大阪	×	×		副委員長	時田 崇	大阪平野	○	○
	委員	光本 智輝	高槻	○	×		委員	富永 明	吹田	○	○
	委員	濱中 真希子	大阪北梅田	○	○		委員	北山 展弘	守口イブニング	×	×
	委員	北林 寛崇	池田	○	○		委員	佐竹 禎行	摂津	○	×
委員	桶川 秀次	大阪梅田	○	○	委員	奥長 浩一	大阪南	×	×		
委員	辻本 淳一	大阪城北	○	○	委員	高濱 昌次	大阪リバーサイド	○	×		
国際・社会奉仕	委員長	庄田 佳保里	池田くれは	○	○	学友	委員	和田 浩孝	豊中千里	×	×
	副委員長	中根 三恵子	大阪工科大学	×	×		委員	倉角 和弥	八尾	○	×
	副委員長	尾島 康弘	大阪堂島	×	×		委員	高角 孝一	大阪大淀	○	○
	副委員長	古澤 みちよ	大阪西南	○	○		委員	船崎 敏伸	吹田江坂	×	×
	副委員長	朝香 光雅	高槻東	○	○		委員	岩崎 良子	大阪平野	×	×
	副委員長	桑城 伸語	大阪梅田東	○	○		委員	畦川 伸一郎	大阪城北	×	×
	委員	橋本 修	大阪御堂筋本町	○	○		委員長	樋口 晃	大阪西南	○	○
	委員	村岡 基	大阪北	○	×		副委員長	佃 啓史	守口	○	○
	委員	北西 秀行	大阪北梅田	○	×		委員	富田 典良	枚方	○	×
	委員	村川 幸作	大阪堂島	○	○		委員	伊藤 勝彦	大阪南	●	●
	委員	岩元 孝樹	大阪西北	○	×		委員	河原 誠司	大阪北梅田	○	○
	委員	浅野 隆弘	大阪平野	×	×		委員	瀧井 斉	高槻東	○	○
	委員	高原 誠一郎	池田くれは	○	○		委員長	新堂 博	大阪城北	○	○
	委員	今井 卓哉	池田くれは	○	○		副委員長	川上 克己	大阪中央	○	×
委員	湯木 尚二	大阪	○	○	副委員長	川上 哲司	大阪天王寺	○	○		
委員	飯田 哲久	高槻	○	○	委員	西垣 浩	大阪フレンド	○	○		
委員	高橋 太郎	箕面	×	×	委員	木本 辰也	交野	○	○		
委員	嶋田 健一	交野	○	○	委員	渡邊 徹	大阪東	○	○		
米山奨学	委員長	辻本 啓之	大阪城北	○	○	ロータリー財団	委員	渋川 了	東大阪	○	○
	副委員長	大道 一弘	大阪城東	○	○		委員	樋口 健一郎	高槻東	○	○
	副委員長	松田 振興	大阪城南	×	×		委員	戸田 尊文	東大阪東	●	●
	副委員長	鎌田 誠	大阪御堂筋本町	○	○		委員	橋本 丈次	大阪心斎橋	○	○
	副委員長	上瀬 匠	大阪中之島	○	○		委員	國次 孝平	大阪北	○	○
	委員	八ツ橋 直	大阪南	○	○		委員	奥村 隆司	大阪梅田	○	○
	委員	小切間 俊司	大阪東	×	×		委員	岡本 吉弘	大阪西北	○	×
	委員	中西 美代子	高槻	○	○		委員	糸野 慎一郎	大阪アーバン	○	×
	委員	原山 歩	大阪船場	×	×		委員	笠谷 昌宏	大阪	○	×
	委員	中村 武	池田くれは	○	×		委員	北井 雄大	大阪平野	○	○
	委員	新井 繁太郎	東大阪東	●	×		委員	木村 千恵	大阪北梅田	○	○
	委員	西川 正一	大阪淀川	○	○		委員	篠原 光子	高槻	○	○
	委員	松崎 達郎	大阪東南	○	○		委員	由谷 太作	大阪南	○	×
	委員	平岡 史生	大阪北	○	○		委員	児林 健太	八尾	○	×
委員	谷 安都子	吹田	○	○	委員	藤田 充男	豊中	○	×		
青少年交換	委員長	廣田 亮彦	大阪北梅田	●	×	委員	池内 義彦	大阪東	○	○	
	副委員長	水谷 佳代	大阪西南	○	×	委員	天野 大樹	大阪船場	×	×	
	副委員長	小原 正敏	大阪	○	×	委員	山本 智重	大阪城南	○	○	
	副委員長	藤原 史嗣	東大阪西	○	○	委員長	樋口 武英	大阪東	○	○	
	委員	久松 秀雄	大阪御堂筋本町	○	○	副委員長	堀田 進介	大阪北梅田	○	×	
	委員	山下 真知	大阪平野	○	○	副委員長	福田 忠	大阪難波	○	○	
	委員	田河 健司	大阪心斎橋	×	×	副委員長	瀬戸口 哲夫	大阪東	○	×	
	委員	滝川 晃	東大阪東	×	×	副委員長	市村 優次	東大阪	○	○	
	委員	住吉 依子	大阪うつぼ	○	○	副委員長	浜田 晋	大阪北	○	○	
	委員	津村 昌明	茨木西	○	×	委員	川口 秀司	大阪東	○	×	
	委員	八木 雄毅	大阪西	○	○	委員	武島 秀吉	大阪御堂筋本町	○	○	
	委員	小池 廣子	大阪帝塚山	○	×	委員	青山 緋一郎	大阪南	○	○	
	委員	中嶋 茂夫	大阪中央	●	●	委員	吉田 千里	大阪西南	○	×	
	委員	山野 拓也	大阪そねざき	○	×	委員	帆足 嘉寿大	東大阪中央	○	○	
委員	太田 善文	大阪東	×	×	委員	大和田 雅江	大阪西	○	○		

○ 出席
× 欠席
● 兼任

次年度のRI会長

ステファニー.A.アーチック

ステファニー A. アーチック
2023-24年度会長エレクト
McMurrayロータリークラブ
米国ペンシルバニア州



McMurrayロータリークラブ（米国ペンシルバニア州）所属。2024-25年度RI会長。RI理事、ロータリー財団管理委員、研修リーダー、ロータリー財団地域コーディネーター、RI会長代理など、RIで数多くの役職を歴任。また、3回の規定審議会で代表議員と特別議員を務める。

ロータリー戦略計画委員会とロータリー財団百周年記念委員会の委員長を務めたほか、選挙審査委員会と運営審査委員会を含むさまざまなロータリー委員会の委員を歴任。

高等教育、コンサルティング、エンターテインメント業界における職歴を有し、ペンシルバニア州立インディアナ大学でリーダーシップ研究の博士号を取得。ロータリー財団をはじめ数多くの地元機関・国際機関から賞や表彰を受けている。

ガバナーエレクト

大橋 秀典（東大阪東RC）

大橋 秀典
2023-24年度ガバナーエレクト
東大阪東ロータリークラブ



2006年6月	東大阪東ロータリークラブ入会
2015-16年度	クラブ幹事
2019-20年度	クラブ会長
2020-21年度	第2660地区青少年交換委員長
2022-23年度	第2660地区規定審議・決議委員会委員
2022-23年度	第2660地区研修委員
2022-23年度	第2660地区大阪・関西万博関連事業実行委員会委員
2023-24年度	第2660地区青少年奉仕統括委員会 委員長

1980年 3月	神戸学院大学経済学部経済学科 卒業
1980年 4月	片山鉄建株式会社 入社
1984年10月	サクラテック株式会社入社
2002年12月	サクラテック株式会社 代表取締役社長就任
2022年 7月	サクラテック株式会社 代表取締役会長就任

ロータリー財団 メジャードナー
ロータリー財団 ヘネファクター
ロータリー米山記念奨学会 米山功労者（マルチプル）

2024-25 年度のための地区チーム研修セミナー

配布資料一覧

1. プレゼン内容

- ① RI 会長テーマと第 2660 地区運営・活動方針
- ② 地区財務の概要
- ③ ロータリーの危機管理

2. 各種資料(別冊)

- ① ロータリアンの行動規範
- ② 地区予算(案)
- ③ 地区・地区委員会 主要行事日程一覧(案)
- ④ 地区組織・地区行事・委員会取決め事項
- ⑤ 地区委員会に関する RI 第 2660 地区の方針
(2022-23 年度より適用、2024-25 年度一部改訂)
- ⑥ 地区ロータリー財団委員会に関する RI 第2660地区の方針
- ⑦ 地区委員会 財務ルール
- ⑧ RI 第 2660 地区 組織図

次年度のRI会長テーマ

→最後のRI会長テーマ。(2025-26年度から会長の年次テーマとロゴ作成は廃止)



マジックといっても“魔法の杖”を振って呪文を唱えることでは無い。

我々がプロジェクトをする時、寄付をする時、新入会員を入れる時にマジックを生み出す。

皆で一緒にマジックの力(ロータリーの変容力)で世界を輝く世界に変えましょう

2024-25 年度 RI 会長テーマ および

第 2660 地区 運営・活動方針

ガバナーエレクト 大橋 秀典(東大阪東 RC)

1. 地区チームの役割

地区チームの役割は、各部門の活動においてクラブを支援することです。
その活動は RI・ガバナーの方針や目標に沿うものでなければなりません。
「地区チーム研修セミナー」とは、それらの方針や目標を共有し、次年度の各チームの活動計画をつくるための研修セミナーです。
良いチームワークでクラブを支援していきましょう。

2. RI 会長テーマ

RI 会長 ステファニー A. アーチック (略歴などは別紙参照)
RI 会長テーマ 「THE MAGIC OF ROTARY : ロータリーのマジック」

3. RI 会長のスピーチ要約 (My ROTARY より)

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1月8日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」
マクマーリー・ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」

平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチ

ック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在 140 カ国以上で活躍する約 1,800 人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバーチエシエヒル大学に設置される最新の平和センターでは、2025 年に第 1 期フェローが学業を開始します。

「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20 年以上前に始めました」とアーチック氏。

「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。

「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。

「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」

さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。

「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去 50 年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれません。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) の原則を取り入れることであると述べました。

「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEI を受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」

4. RI ビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

5. ロータリー行動計画

- ・より大きなインパクトをもたらす (IMPACT)
- ・参加者の基盤を広げる (REACH)
- ・参加者の積極的なかかわりを促す (ENGAGE)
- ・適応力を高める (ADAPT)

6. RI と TRF の年次目標

■優先事項 1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025 年までに 20 億 2,500 万ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

■優先事項 2「参加者の基盤を広げる」の目標

4. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
5. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
6. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
7. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

■優先事項 3「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

8. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
9. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
10. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

■優先項目 4「適応力を高める」の目標

11. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
12. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

7. 地区ビジョンと地区中期3ヶ年計画



2022-23年度より有効

私たちロータリアンとローターアクターは；

- ◆ 持続可能な良い変化を生むために、多様性を重んじ、あらゆる側面で公平さを促進し、異なる考えや価値観をもつ人々による貢献を大切に、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」を実現します。
- ◆ RI テーマを理解し、地域の特性にあった活動を通じて、それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。
- ◆ ロータリーの原点である親睦と奉仕を根幹とし、世界および地域社会で良い変化を生み出します。
- ◆ 世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。

* 2019年規定審議会は国際ロータリーの組織規定を改正し、ローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブになりました。

地区中期3ヶ年目標 (2022-23~2024-25)

1. より大きなインパクトをもたらす

- ポリオ根絶のために*アドボカシー活動とファンドレイジングを推進します。
- 地域調査に基づいた、持続可能でインパクトをもたらす奉仕を強化します。

2. 参加者の基盤を広げる

- メディア、ソーシャルメディアや地域社会で、クラブと地区のインパクトを紹介し、公共イメージ向上を推進します。
- あらゆる背景を持つ人、人生のさまざまな段階にある人のためにロータリーへの新しい経路を開き、多様な人々の参加を促し、その貢献を尊重します。

3. 参加者の積極的なかわりを促す

- 全クラブが将来のビジョンや中期計画を策定するよう推奨します。
- さらに多くの会員が惹きつけられる新しいプログラムや行事、学びの機会を創出します。
- クラブが毎年ロータリー賞の受賞を目指すことを推奨します。

4. 適応力を高める

- 変わりゆく世界で国際的な発言力を高め、新しい機会を追求し、ロータリアンやローターアクターが地域で、国際社会で活躍するためのより多くの道をつくっていきます。
- 社会により良く奉仕するために、新しい人たちにオープンになり、テクノロジー、社会の変化に迅速かつ恐れずに適応していきます。

* アドボカシー活動とは一人ひとりがポリオについて理解をし、解決のためにできることを政府や社会に訴えていくことです。

8. 地区年次目標



2024-25 年度 地区の年次目標

■優先事項 1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

- ・世界ポリオディにおいて、ロータリーファミリーが一体となり、ポリオ根絶とローターアクトクラブの自立をめざすイベントを実施し、発信します
- ・すべてのクラブによる財団補助金(地区補助金・グローバル補助金)活動を推進します
(＊特に能登半島地震への復旧・復興支援、平和の推進)
- ・財団寄付目標(年次基金寄付 \$ 150、ポリオプラス基金寄付 \$ 50、恒久基金寄付 \$ 30)を達成し、衛星クラブ等からの寄付を増進します
- ・ローターアクトクラブはクラブまたは個人からの財団寄付合計 \$ 100 を達成します
- ・ニーズに合う奉仕がインパクトの大きな成果につながる事を確認します

■優先事項 2「参加者の基盤を広げる」の目標

- ・多様なクラブを広めます
- ・クラブが自身の文化を評価および変更出来る様に支援します

■優先事項 3「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

- ・あらゆる行事を学びの機会とし、会員の参加促進をめざします
- ・DEI へのコミットメント、特にインクルージョンを強化します
- ・米山記念奨学会を支援します(ロータリアンは寄付目標 30,000 円)
- ・全クラブのクラブ優秀賞(旧ロータリー賞)受賞を目指します。

■優先項目 4「適応力を高める」の目標

- ・四つのテストで物事を考え、適応力を高めます
- ・地区チームの DEI を進めます
- ・すべてのクラブ会員が My Rotary に登録し、活用できるよう推進します

9. 地区年次目標の中の重点項目

A.「より大きなインパクトをもたらす」の目標について

① 世界ポリオデイイベントの実施

関連する委員会

【青少年奉仕統括委員会、ロータリー財団委員会、公共イメージ向上委員会】

2024年10月20日(日)に世界ポリオデイのイベントを開催します。

今年度のポリオデイイベント「END POLIO チャリティハロウィンパーティー」の経験を活かし、ローターアクトクラブの自立化、ポリオプラスへの寄付増進、アドボカシー活動に繋がるイベントとして実施してください。

② 地区補助金の活用

関連する委員会

【ロータリー財団委員会、国際・社会奉仕委員会、ローターアクト委員会】

能登半島地震の復旧・復興に対する地区補助金活用事業について、地区内クラブに十分な情報提供を行い、推進してください。また、各ローターアクトクラブの地区補助金活用を推進してください。また、平和を積極的に推進するための人材育成として、平和フェローやグローバル奨学生の推薦をクラブに呼びかけてください。

③ 寄付の推進

関連する委員会

【ロータリー財団委員会】

地区補助金の申請要件については、2年前(大橋ガバナー年度からみて)の年次基金寄付実績に基づき、地区補助金が配分されます。

次年度はこの配分率に、衛星クラブの会員数を含めません。しかし、財団寄付の推進がよりインパクトある奉仕には欠かせません。つきましては、財団寄付の意味や必要性を地区内すべての会員、特に衛星クラブの会員に周知し、寄付の増進に努めてください。

B.「参加者の基盤を広げる」の目標について

① 少人数クラブへの支援について

関連する委員会

【クラブ奉仕・拡大増強委員会（ガバナー補佐）】

地区内には、2023年12月末時点で20名以下のクラブが12クラブ存在しています。
うち3クラブは15名以下です。

それぞれクラブの個性を大切に活動されていると思いますが、クラブの維持を考えた時、
会員数が多いクラブに比べて、会員ひとりにかかる負担が重くなっていると思います。

ある特定分野の奉仕に特化したクラブや、法人の中に設置するクラブなど、多様なクラブが
あることを広報したり、現在のクラブが抱える問題点の相談を受けたりし、クラブがより活性化
できるよう、支援をお願いします。

C.「参加者の積極的なかわりを促す」の目標について

① 参加の推進について

関連する委員会

【全委員会】

■次年度に開催される大きなイベント

◆大阪・関西万博（2025年4月13日～10月13日）

◎EXPO フェスタ(IM組ごとに全6回)

◎クラブ単位で行われる拡大例会、エクスカーション

組	担当クラブ名	開催予定日	場所
IM第1組	大阪中央RC	2025年5月30日（金）	ホテルグランヴィア大阪
IM第2組	大阪淀川RC	2025年4月26日（土）	ホテルグランヴィア大阪
IM第3組	大阪城北RC	2025年5月10日（土）	ホテルニューオータニ大阪
IM第4組	八尾RC	2025年6月7日（土）	ルミナス神戸2（クルーズ船）
IM第5組	大阪ユニバーサルシティRC	2025年4月19日（土）	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
IM第6組	大阪天満橋RC	2025年5月23日（金）	ヒルトン大阪

◆第37回全国ローターアクト研修会（2025年3月22日～23日予定）

23年ぶりに2660地区がホストを務めるRA全国大会

■コロナ明けで本格化した活動

インターアクト海外研修

青少年交換事業(2024-25年度は派遣が6名)

次年度は、大変多くのイベント、例会、研修会等が予定されています。
できるだけ多くの会員を巻き込んで、参加を促進してください。

② クラブ優秀賞(旧ロータリー賞)の推進

関連する委員会

【公共イメージ向上委員会】

全クラブのクラブ優秀賞の受賞については、クラブの意識付けを行うことで達成可能と考えます。My ROTARY の活用につなげるためにも、是非継続的な確認をお願いします。

D.「適応力を高める」の目標について

① 地区チームの DEI について

関連する委員会 【全委員会・特に、ロータリー財団委員会、公共イメージ向上委員会】

次年度は、すべてのガバナー管轄委員会に女性メンバーが入りました。クラブや青少年へのサポートにあたり、DEI の意識を持って取り組んでください。

ロータリー財団委員会、公共イメージ向上委員会には、ローターアクト会員をオブザーバーとして受け入れて頂く様お願いしています。開催時間や開催場所など、新しいメンバーと一緒に活動するためにはどのようにしたら良いか、是非お考え下さい。

地区チームの DEI を進めることで、地区内にも DEI の意識が広がることを期待しています。

② My ROTARY の活用について

関連する委員会

【公共イメージ向上委員会】

当地区の My ROTARY への登録率は継続的な呼びかけにより大変高くなっています。しかし、まだ活用されているとは言えません。登録だけを行っているフェーズから、活用するフェーズに進むよう、推進してください。

ロータリーマジックを起こし、楽しいロータリー活動を一緒にがんばりましょう！

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

2024-25年度 地区財務の概要

<内容>

1. 地区予算の体系
2. 地区委員会予算の管理

2024-25年度 地区財務委員会
委員長 前田 興二
(東大阪東ロータリークラブ)

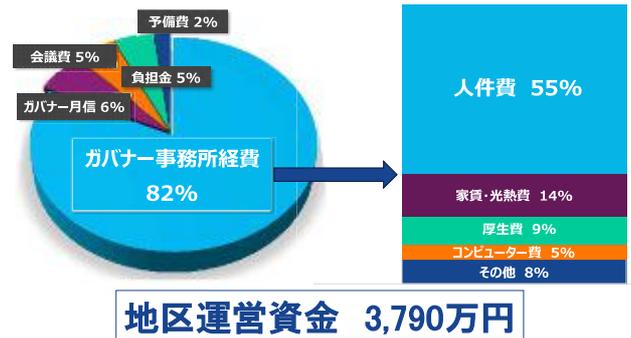


地区予算の体系

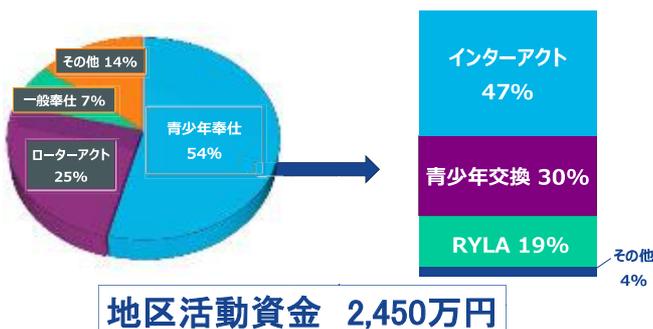
地区予算の構成



地区運営資金の構成



地区活動資金の構成



地区委員会予算の管理

地区財務委員会の使命と役割

使命	<ul style="list-style-type: none"> ・地区資金の健全な運営と透明性の確保 ・より効果的・効率的な資金の活用の推進
-----------	---

役割	<ul style="list-style-type: none"> ・地区予算の策定, 執行状況のフォロー, 決算 ・主要事業の個別予算書、決算書の精査・審議 ・建設的な予算策定への助言
-----------	---

地区委員会 予算管理スケジュール

	2023年	11月	地区委員会活動計画ヒアリング
ガバナー エレクト期	2024年	2月	地区予算策定（地区チーム研修セミナー）
		4月	地区予算承認（地区研修・協議会）
ガバナー期	2024年	5月	地区委員会予算執行計画書作成
		7月～	・主要行事予算書審議（3か月前） ・同上決算書審議（1か月後）
		6月	・委員会決算報告作成
直前 ガバナー期	2025年	8月	地区決算・監査
		10月	地区決算クラブ承認
		12月	地区大会報告

地区委員会へのお願い

適切な予算書・決算書の作成

- ◎ 地区財務ルールの熟読と内容の理解
- ◎ 重要事項の順守（提出時期・提出物・記載内容等）

予算策定に当たっての創意・工夫

- ◎ 前年踏襲からの脱却
 - ・新たな視点での固定費の削減
 - ・対費用効果の高い事業運営

ご清聴ありがとうございました



3. 地区危機管理委員会の対応

対象プログラム	責任者	危機管理委員会対応範囲
国際ロータリー ・青少年交換 ・インターアクト ・RYLAセミナー ・ローターアクト ・ロータリー学友	ガバナー	ガバナーと情報を共有し 対応する
ロータリー財団 ・グローバル奨学生 ・平和フェロー	地区ロータリー財団委員長	地区委員長と情報を共有し 支援する
米山記念奨学生	地区米山奨学委員長	地区委員長と情報を共有し 支援する

7

事故・事件が発生した際の対応について

- ①クラブで発生した場合はクラブ内で解決する。
 - クラブは地区危機管理委員会に直ちに連絡する。
 - 地区危機管理委員会はクラブを支援し、結果を確認する。
- ②クラブで解決できない場合はクラブ会長は速やかに地区ガバナーに報告し、地区危機管理委員長がガバナーと相談の上、対応する。

③地区内で発生した場合は地区危機管理委員会が対象の会員の所属クラブと相談の上、地区内で解決する。

8

4. 国際ロータリーのハラスメントに関する基本となる規定

- ①司法機関に申し立てが行われた場合
 - 司法に委ねる(RIのゼロ容認方針)
- ②国際ロータリーの行動規範に違反した場合
 - RIへの報告義務及び罰則規定
- ③成人ハラスメントに関する研修義務

9

国際ロータリーのハラスメントに関する基本となる規定

青少年プログラムの場合

- 72時間ルール
- 対象となるのは青少年交換とインターアクト及び、18歳未満のRYLA

成人の場合(日本の成人年齢は18歳以上)

- 72時間ルールは適応されないが、RAC・RYLAを含むすべてのロータリアンに、RIへの報告を推奨している。

➢ ガバナー事務所に「ハラスメント相談窓口」を設置しています。

10

地区行事・セミナーでのハラスメント防止について

①	未成年者が参加する宿泊を伴う青少年プログラムにおいては同行ロータリアンの飲酒を禁止する。	消灯後を含む。他地区との合同開催の場合は事前に危機管理委員会に相談する。
②	ロータリー主催のプログラムであることを自覚し、地区委員・参加ロータリアンが積極的に事業へ関わる必要性を、改めて強く認識するように促す。	協力団体等に任せきりにせず、引率者・監督者の自覚を持つ。
③	地区へ出向する人の選定、選出に関し、クラブへ②の必要性を理解し協力できる人の推薦を依頼することとする。	クラブから推薦理由を提出してもらうこととする。
④	研修旅行などにおける同行ロータリアンの義務や注意すべきこと等を毎年、確認するとともに、危機が生じた際の対応を見直し、周知徹底する。	検討内容は危機管理委員会に報告する。

11

パワーハラスメントの本質

1. 相手の人権侵害
 - …すべての人にその人なりのプライドがある
 - …パワハラは、相手の「人間としての尊厳」を傷つける行為
 - …相手の人生を変えてしまう罪深い行為
2. 相手も自分も人間としては対等であるという意識の再確認
3. 地位が上がることにより、人間的にも偉くなったと錯覚
4. 自己の成功体験をリセットできない人
 - …柔軟性・環境の変化への適応力・寛容の精神の欠如
5. 指導・教育・注意の効果く手段としての言動
6. 人としての「品性」の問題 企業としての「品格」の問題

12

ハラスメント事例集

※2020年6月作成



13

5.基本方針

- ①重大な事故・事件、身の危険が脅かされている場合、適切な法執行機関（警察等）に連絡する。
※ただし、未成年が参加する青少年プログラムは国際ロータリーへの報告が義務＝ゼロトレランス
※成人の場合、警察の関与は犯罪の疑いがある場合に限定
- ②被害者と被疑者の接触を断つ（報復の防止）
- ③日本の法律を遵守する。
- ④ロータリークラブの活動での出来事かどうか確認する。
- ⑤国際ロータリーの行動規範に従う。

14

6. プライバシー・個人情報について

プログラムの登録時に参加者へ、第三者（RIを含む公的機関）への個人情報の①利用目的②第三者提供③開示請求について同意を書面で得てください。

- ・ ハラスメント調査及び報告には個人を特定できる内容を含むことに留意する。
- ・ 被害者・関係者・被疑者（未成年の場合）のプライバシーは保護されるべき。

15

参考：中小企業向け「これだけは！」10のチェックリスト付 はじめての個人情報保護法 ～シンプルレッスン～
(平成29年6月)より抜粋



16

個人情報の取り扱い注意事項

個人情報の使用については取り扱い責任者を任命する。
個人情報を収集・利用する際は、事前に内容を説明し同意を得る。
必要な用途のみに使用し、終了後速やかに処分する。

- ① プログラムの参加者（会員以外）の個人情報取り扱いには十分に注意する。
- ② クラブや地区が所有する名簿には、個人が提供する情報のみを記載する。
- ③ 行事や研修会を録画・録音する場合は、参加者にその旨を伝える。
- ④ ホームページやメディアに掲載する場合は、参加者にその旨を伝える。
- ⑤ アンケートを取る場合は、主旨と日時を提示し、それ以外には使用しないことを明示する
- ⑥ YOUTUBEなどオンライン配信は、誰でも視聴できることを意識する。

17

7. 最後に

思いやりの心、ロータリアンとして人格を高めること
ロータリアンがロータリアンであること

最も重要なことは、事故・事件をいかに事前に防ぐか（予防リスクマネジメント）です。
ロータリーは単年度制であり、また社会環境の変化に対応するためにも研修が重要です。

クラブが危機への正しい知識を持つためには
全ての地区委員の、危機管理へ理解と協力が不可欠です。

18